

集団暴行し 動画を撮影 なぜ無罪なのか!?

—滋賀医科大生・性暴力事件から考える



弁護士 太田啓子

後をたたない性暴力事件。女子学生に集団で性的暴行をし動画を撮影したとして強制性交罪(現不同意性交罪)に問われ、一審で実刑判決が下りた医学生2人に対して、大阪高裁は昨年12月18日、無罪判決を言い渡しました。性犯罪がなぜ処罰されないのか。滋賀医科大生・性暴力事件から見える問題を、太田啓子弁護士に寄せてもらいました。

「同意があった疑い払拭できない」と逆転無罪に

昨年1月25日に大津地裁で有罪判決が下りた強制性交等被告事件について、12月18日に控訴審(大阪高裁)が無罪を言い渡したことがSNS等で物議をかもしました。

医大生3人が、飲み会後、女子学生に性交等をした事件です。両判決を讀み比べましたが、悪質な事案で、女子学生に性交等への真摯な同意があったとはとても考えられないと私は思います。

女子学生は、警察への相談当初、性交等を撮影されていたことを心配して、自分も悪かったから仕方ないという趣旨の言葉を述べていました。

大津地裁判決は、性暴力被害者心理からすればそのような言葉は自然であると理解し供述全体の信用性を認めました。他方、大阪高裁判決は、この経緯を、女性は「動画の拡散を防止するという目的のために警察に捜査してもらった必要があり」

「警察が捜査をやめてしまわないように」虚偽供述をする動機があった、と女性の供述の信用性を疑問視しました。

性暴力の本質を理解できているのか 5つの視点

性暴力が、司法の場で性犯罪として処罰されるためには、以下が必要で

①法律における性犯罪の定義が、現実の性暴力を的確に捕捉できるものであること

②被害者が警察に相談しやすい状況であること

③犯罪立証に資する科学捜査力が強化されること

④警察が的確な捜査を行うに十分な証明活動を行うこと

⑤裁判所が証拠に基づき的確に犯罪を認定すること



性暴力無罪許さない! 緊急大阪フラワーデモに300人。昨年12月23日、大阪高裁前で(川本幹子さん提供)

①の法律で定める性犯罪の定義が性暴力の実情

から乖離している問題は、2017年、23年と

続いた刑法の性犯罪規定

改正によってかなり進展

しました。十分な改正と

はいえないかもしれず、

実務の運用で今後の課題

がみえてくるでしょう。

②については、不同意

性交等の被害に遭った人

が警察に相談するのはわ

ずか1・4%という調査

があります(2023年

度内閣府男女間の暴力に

滋賀医科大生事件にあてはめると:

この視点を滋賀医科大生事件にあてはめると、

⑤の問題があった事案だ

と思います。ただし、性

暴力被害者心理について

の専門的知見が法廷で示

された形跡はなく、検察

の証明が手堅く十分にな

されたのか疑問もあると

いう意味で④の問題もあ

ったように思います。

事件が起きた時期から、

2023年改正前の刑法が適用された事案な

のですが、このような「

判断のばらつき」は、「

同意のない性行為は犯罪

になりうる」を明確にし

た23年刑法改正で解消

熊本

ソーイングで ケアマフ作り

【熊本支部くわみず班

田邊菜穂子】地域の病院

と連携している「健康友

の会」と共催でソーイン

グサークルを始めて1年

以上になります。

今回、病院からの依頼



色や飾りを工夫して▲熊本

栃木

配達者のつどい 1分間スピーチ

【佐野支部 林美恵子】

昨年11月30日、「配達者

のつどい」を開きました。

コロナ禍でできなかつ

たので、久々のつどい

です。30人の配達者と機

関紙部による郵送と佐野



苦労話も出し合い▲栃木

でケア(認知症マフ作り

にとりくみました。はじ

めに、病棟の看護師さん

からケアマフの効果やサ

イズなどの説明を受けま

した。患者さんが手触り

や飾りを染しめるように

と、毛糸の色や飾りに工

夫して編んでいます。患

者さんに、使ってもら

うことはもちろん自分たち

も編み物をするのが、

市内をくまなく、1年間、滞りなく新婦人しんぶんが配達されました。

機関紙部からは、雨の日も風の日も雪の日もみんなが配達してくれるから安心して「19日行動」にこだわり、仲間づくりができることに感謝が述べられました。会が呼びかけている前大会時現勢を回復突破し、新年を迎えようと具体的な目標が提起されました。

1分間スピーチでは、新しい小組の動き、しんぶん配りや集金の苦労話、要求をタイムリーにとりあげる新婦人しんぶんのよさ、知り合いに宣伝紙を手渡し続けている経験など交流しました。



心のつながりも魅力▲和歌山

癒やしとなっています。

和歌山

魅力いっぱい 着物リフォーム

【龍神支部龍神班 赤石

克子】着物リフォーム小

組は、月一回、田辺市でや

っていて、8年目になり

ます。細かなところは先

生に聞いて、その後は倍

ほどおしゃべり。グルー

プLINEで教え合ったり、

季節の気づきなども送

り合ったり。心のつなが

りも魅力の一つです。

1月6日は新年会&先

生の「卒寿前夜祭」をし

ました。先生は1月に89

歳になられたのに、例会

に駆けつけてくださいま

す。今年末には、卒寿の

お祝い。先生のおかげ

で、みんな「老いてなん

かいられない」と思っ

ています。

編集部メールアドレス s-press@shinfujin.gr.jp

ホットライン

通信をお寄せください

各地のとりくみを300字程度で、写真を添えて送ってください。編集の都合上、文章を短くする場合があります。◆支部・班・小組名、投稿者の氏名、電話番号を明記してください。掲載分にはクオカードを進呈します。通信はEメールでも受け付けています。アドレスはs-press@shinfujin.gr.jp 郵送は〒112-0002東京都文京区小石川5-10-20新婦人しんぶん編集部「ホットライン」係